

社会学部報

- ◇昭和46年3月31日 稲継尚助手芦屋大学講師に就任のため退職、矢谷慈国助手追手門学院大学助手に就任のため退職。
- ◇4月1日 中野秀一郎助教授(社会学)、真鍋一史助手(マスコミ)就任。津金沢聡広講師、春各純人講師、紺田千登史講師、村川満講師、助教授に昇任。
- ◇4月14日 学部研究会「大学の理念」をテーマとしてシンポジウムを行なった。報告者余田博通教授、山中良知教授。
- ◇4月15日 始業式において定平元四良教授「日本人のものの考え方」を講演。
- ◇5日12日 研究会総会 昭和45年度決算報告、および大学院生の紀要投稿、シンポジウム等について協議が行なわれた。
- ◇5月26日 学部研究会 発表者倉田和四生教授「都市化の社会学」
- ◇6月23日 学部研究会 発表者村川満助教授「ミルトン『失楽園』の一性格について」、船本弘毅宗教主事「ボンヘッファーの現代的意義」
- ◇8月28日 山中良知教授一ケ年間の予定でオランダ留学に出發。
- ◇9月10日 J. ジョイス助教授一ケ年間の休暇を終えて帰学。
- ◇9月29日 学部研究会 発表者中野秀一郎助教授「体系機能主義社会学の構想」、真鍋一史助手「政治的社会化研究の課題と方法」。
- ◇10月1日 倉田和四生助教授・丹羽春喜助教授・杉山貞夫助教授、教授に昇任。

海外出張

- 小関藤一郎教授 労働状況調査のため、6月24日より7月4日まで、マレーシャ、シンガポールへ。
- 萬成 博教授 アメリカ企業の人材開発状況調査のため、6月19日より6月28日まで、ロスアンゼルス市へ。
- 田中 国夫教授 アメリカ社会心理学研究の視察と、社会的態度に関する調査研究のため、7月2日より8月22日まで、アメリカ各地へ。兵庫県青年洋上大学の講師として、9月7日より9月29日まで、マニラ、香港、シンガポールへ。
- 丹羽 春喜教授 アメリカ政府の招聘による、同国諸学者との意見交換と視察のため、5月5日より6月20日まで、アメリカ各地へ。
- 武田 建助教授 高等部アメリカン・フットボール部の

ハワイ遠征指導のため、8月23日より9月1日まで、アメリカ・ハワイ州へ。

宮田満雄助教授 世界YMCA同盟主催のアジア指導者協議会に出席のため、5月22日より5月29日まで、韓国ソウル特別市へ。

中野秀一郎助教授 東南アジアにおける Professions の社会学的研究および資料蒐集のため、7月1日より8月31日まで、サイゴン、バンコク、クアラルンプールへ。

学会消息

◇日本新聞学会

昭和46年6月4、5両日、総会並びに春季研究発表会が本学部において開催された。本学部からは、真鍋一史助手「日本人の世論観」の研究発表があり、藤原恵教授津金沢聡広助教授は主に大会運営に当たった。第2日は「情報産業における労働の特質」と題するシンポジウムがもたれ、活潑な討論が行なわれた。

なお、学会開催に当って、学院、学部教授会、並びに事務室の方々に多大な援助協力をいただき、当日有志学生諸君にも協力していただいたことを特記して感謝したい。

◇関西社会学会

昭和46年6月5、6両日、第22回大会が関西大学で開催された。本学から多数の参加者があったが、発表では第1日に萬成博教授の「現代工場における合理化と人間問題」、牧正英助教授・遠藤惣一助教授「官庁の組織研究」、松井茂樹教学補佐の「わが国職業分類にみられる社会思想の発展」があったほか、第2日の重点部会の「フランス社会学」部門では、小関藤一郎教授が司会および「フランス社会学とフランス社会」と題する、同部門の総括的発表を行なった。

◇日本時事英語学会

昭和46年9月4日、兼松・江商ビルで関西支部研究集会が開かれ、本学部より西尾朗教授が出席した。

後記

本号には昭和46年4月14日に開催された社会学部研究会シンポジウムの報告要旨(山中良知教授「大学の理念」)を掲載しました。学部研究会でシンポジウムを開催するのは今回が最初の試みであり、今後も継続していく予定です。なお、余田博通教授の報告要旨は次号に掲載する予定です。